

意見交換会実施報告書(議長報告用)

開催日時	令和 5 年 11 月 6 日(月) 14:00 ~ 15:00
開催場所	市役所 9階 903 (Aグループ)
出席議員及び 役割分担	グループ長(司会): 川又 康彦 グループ員: 高木 克尚 黒沢 仁 村山 国子 記録者: 高木 克尚
参加人数 (参加団体及び 参加者)	A グループ 8人
意見交換会の概要	<p>A グループテーマ 「パートナーシップ制度／ファミリーシップ制度について」</p> <p>1. パートナーシップ制度を全国 343 自治体が導入しているが、福島県は「0」なのは何故なのか</p> <p>(議員)県内では 2 自治体が導入で福島市来年導入予定している。また 9 月議会において全会派一致で意見書を採択した。パートナーシップ制度は西日本が先行導入している。多くの方が制度を意識しているが、肉体的性別と精神的性別の理解が不十分である。理解不十分がおおきな要因として考えられる。</p> <p>2. 市として具体的な事例を把握しているのか。</p> <p>(議員)現時点で報告は聞いていない。</p> <p>3. 6 月議会において「パートナーシップ認証制度の創設を求める」陳情の採択に感謝。港区の「みなとマリージュ制度」は誰もが性的指向・性自認にかかわらず、人生を共にしたい人と家族として暮らすことを尊重するとした制度に見るように、同性婚や LGBT など関係なく誰もが使える制度にすべき。</p> <p>4. 憲法上婚姻は「男女」という仕組みだが、行政がどこまで踏み込めるのか不安がある。専門的人材を配置した「窓口」が必要ではないか？ LGBT 等への偏見を排除が大切。</p> <p>(議員)条例化すべきか規則による運用とするのか、選択肢の検討が必要と思う。条例化するにあたっては、既存の行政手続きを定めた条例の個別改正とな</p>

るのか、複数の関係条例の一括改正といった解釈の整理が必要である。
様々な場面に対応できる「窓口」が必要と考える。

5. 過去には見た目の性別判断から、本人確認に不都合な手続き処理があった。関連行政手続きの一本化(ワンストップサービス)が理想である。

(議員)自治体発行の証明書が行政手続きのみならず、民間手続きにどこまで適用できるか議論が必要でもある。

6. パートナーシップ認証制度にあっては、男女共同参画審議会で検証中であるが、人権尊重の視点から進めるべきと考えている。

(議員)人権における差別ではなく、区別への認識が大切である。

7. 差別なく普通に生きていくための勉強が大切と思うので、審議会では「生きやすさ」を基本に方向性を探っていく。

(議員)パートナーシップ認証制度は、権利を認め広げていくスタートラインである。

8. 自由に生きる権利について模索していきたい。議会傍聴も勉強できる機会と考えている。

9. LGBTなどの権利を考える事例に接する機会が無かった。

10. 意識したことが少なく解らない点が多い。一部の国会議員のようなマクロ的な事例のみを取り上げるのではなく、大局的な視点が大切と思う。

11. パートナーシップを望む同性カップルの方々から意見を聞くことは必要ではないか？

(議員)審議会の方向性は現時点では不透明である。声を上げにくい当事者もいるのではと思う。

12. 昔から声を上げにくい環境の中で、当事者たちは諦めていただろう難しい課題と思う。

(議員)法的な解釈や緩和などの踏み込みには困難な面が多くある。パートナーシップ認証制度の活用範囲の議論が本格化するのはいずれかと考える。

	<p>13. 条例化・制度化にあたっては、先進自治体を研究してほしい。カミングアウトすることで救われる命もある。</p>
--	--

意見交換会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和 5 年 11 月 6 日（月） 14:00 ～ 15:00
開催場所	市役所 9階 904（Bグループ）
出席議員及び 役割分担	グループ長（司会）： 石山 波恵 グループ員： 半沢 正典 二階堂武文 後藤 善次 記録者： 後藤 善次
参加人数 （参加団体及び 参加者）	Bグループ 6人 傍聴者 1人
意見交換会の概要	<p>Bグループテーマ「女性の抱える課題(シングルマザー・高齢者の問題)について」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 福島県における女性が抱える課題に対する意識調査女性の貧困についてのアンケート調査内容と結果についての報告。 2. 男女平等の社会実現・少子高齢化への対応・人口減少による労働力不足への対応が必要である。 3. 男女平等の就労環境の整備を求める。 4. まだ家庭内でのジェンダーギャップを感じることから改善が必要である。 5. 女性が働きやすい職場環境への是正が必要である。 6. 職場での妊娠時の労働環境の改善が必要である。 7. 出産後の職場への復帰について配置換えなどに対する是正が必要である。 8. 高齢者・障がい者への就労支援について改善が必要である。 9. 高齢者などが入居条件に合わないため、市営住宅が空いているのに入居できない。 10. まだ男女よっての職場環境の差が感じられる。

11. 就労の賃金や退職後の年金金額など生涯を通しての男女の収入差額の是正が必要である。

12. 性別による正規雇用・非正規雇用への差別の是正が必要である。

13. シングルマザーへのDVなど男性に対する対応が必要である。

14. 年齢による男女平等に対す意識の改革が必要である。

15. 利用しやすい公共交通に対する今後の取組みを求める。

(議員)

・男女の格差をなくすための企業の改善への取組みは進んでいると思うがさらに進めていきたい。

・人口減少からどうしても女性と障がい者の方の社会進出は求めて行かなければならない社会になってきていると感じている。

・正規雇用の充実するために行政側でも工業団地の誘致など働く場所をつくる取組みを行っている。

・子育てしやすい環境作りは結婚から子育てまでパッケージにして取り組んでいかなければならないと感じている。

・行政で取り組むためには財源を確保するためにも国を挙げて制度化して取り組んでいくことが必要なので国に求めていきたい。

・職場環境の改善や人口減少への対応はこれまでの考えを変えるなど発想の転換が必要であると感じている。

・これまでの女性のライフステージは変化が大きかったことから女性の活躍できる社会の環境づくりが必要であると考えている。

・これまで以上に保育園などの充実に取り組み、子育てするための環境づくりの改善をしていかなければならないと感じている。

・今後、女性が抱える課題に対する意識調査～女性の貧困について～のアンケート結果などを参考にしながら提言を行っていきたい。

意見交換会実施報告書(議長報告用)

開催日時	令和 5 年 11 月 6 日(月) 14:00 ~ 15:00
開催場所	市役所 9階 909 (全体会)
出席議員及び 役割分担	<p>班 長(司 会): 川又 康彦</p> <p>班 員: 石山 波恵 村山 国子 黒沢 仁 後藤 善次 高木 克尚 二階堂武文 半沢 正典</p> <p>記録者: 高木 克尚 後藤 善次</p>
参加人数 (参加団体及び 参加者)	<p>Aグループ 8人</p> <p>Bグループ 6人</p>
意見交換会の概要	<p>第三部 全体会「まとめ」</p> <p>(川又 班長)貴重な機会に感謝申し上げたい。我々議員の身近に対象事例が少なく、課題の判断に難しい場面もあるが、今後幅広く勉強・検証していくことが、期待に応えることになると感じた。</p> <p>(石山副班長)改めて女性の貧困について検証することができた。非正規労働など取り組むべき課題が多いと感じた。</p> <p>(女性団体代表)普段から議会傍聴活動をしているが、今日は特に議会を身近に感じる事ができたことに感謝を申し上げます。議員の皆様が私たちの意見に真摯に応じていただき、議会活動の深さ広さを発見することができた。また、議員の方々の目線を実感することもできた。議会報告も解りやすく、これからも意見をいただきたいと思う。</p> <p>(石山副班長)今日の内容は、「市議会だより」等で報告する。</p>

令和 5 年11月16日

福島市議会議長 萩原太郎 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 2 班 班長 川又 康彦